

令和4年度事務事業評価シート

令和5年 月 日作成

事業番号		担当課等	温泉課						
事務事業名	源泉設備事業								
予算科目コード	会計	款	01	項	01	目	03	事業開始年度	平成 11 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P37 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	2 温泉	(1) 温泉資源の適正 管理	① 町営温泉集中管理の 推進・効率的な企業 経営				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	老朽化した源泉施設の維持管理を計画的に行い、安定供給に努めるもの。								
対象	町温泉事業								
内容	源泉の改修 老朽化したコンプレッサーの更新								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
	事業費	7,925,500	13,922,014	4,840,000	
コスト 人件費	常勤職員	143,548	141,650		
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	143,548	141,650		
	総事業費	8,069,048	14,063,533		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	8,069,048	4,981,650		
財源合計	8,069,048	14,063,533			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 町所有源泉から揚湯するためには、源泉設備の維持管理及び更新が必要不可欠である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 老朽化した源泉施設を定期的・計画的に更新することにより、漏湯等の事故を未然に防ぎ、温泉の安定供給が図られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 漏湯等の事故を未然に防ぎ、温泉の安定供給が図られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 町温泉施設から配湯を受けることは、受益機会均等である。

令和3年度までの自己評価または改善点	老朽化した源泉施設から順次、定期的・計画的に更新してきた。
--------------------	-------------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	温泉事業の全体又は施設の維持管理等の部分的な業務について第三者委託は可能ではあるが、費用等を含め検討する必要があり導入には至っていない。
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	老朽化した源泉施設から順次、定期的・計画的に更新する。	
令和5年度以降の方向性	老朽化した源泉施設の維持管理を定期的・計画的に行い、安定供給に努める。	

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	老朽化した源泉施設の維持管理を定期的・計画的に行い、安定供給に努めること。
------	----------	---------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年 月 日作成

事業番号		担当課等	温泉課				
事務事業名	流入設備事業						
予算科目コード	会計		款 01	項 01	目 03	事業開始年度	平成 11 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P37 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	2 温泉	(1) 温泉資源の適正 管理	① 町営温泉集中管理の 推進・効率的な企業 経営				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	老朽化した流入施設の改修を行い、漏湯事故を未然に防ぐとともに安定供給に努めるもの。								
対象	町温泉事業								
内容	集湯ポンプ所ポンプの改修								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)			
	事業費	495,000	0	1,650,000		
コスト 人件費	常勤職員	143,548	0	141,650		
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	143,548	0	141,650		
	総事業費	638,548	0	1,791,650		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	638,548	0	1,791,650		
	財源合計	638,548	0	1,791,650		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値	
成果指標	指標設定の理由・考え方		令和2年度	令和3年度	目標値	

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 温泉を町管理の本管へ流入するためには、流入設備の維持管理及び更新は必要不可欠である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 老朽化した温泉施設を定期的・計画的に更新することにより、漏湯等の事故を未然に防ぎ、温泉の安定供給が図られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 漏湯等の事故を未然に防ぎ、温泉の安定供給が図られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 町温泉施設から配湯を受けることは、受益機会均等である。
令和3年度までの自己評価または改善点	老朽化した流入施設から順次、定期的・計画的に更新した。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	温泉事業の全体又は施設の維持管理等の部分的な業務について第三者委託は可能ではあるが、費用等を含め検討する必要があり導入には至っていない。
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	老朽化した流入施設から順次、定期的・計画的に更新する。	
令和5年度以降の方向性	老朽化した流入施設の維持管理を定期的・計画的に行い、安定供給に努める。	

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	老朽化した流入施設の維持管理を定期的・計画的に行い、安定供給に努めること。
------	----------	---------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年 月 日作成

事業番号		担当課等	温泉課						
事務事業名	送湯及び給湯設備事業								
予算科目コード	会計	款	01	項	01	目	03	事業開始年度	平成 11 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P37 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	2 温泉	(1) 温泉資源の適正 管理	① 町営温泉集中管理の 推進・効率的な企業 経営				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	老朽化した送湯及び給湯設備を計画的に改修するもの。								
対象	町温泉事業								
内容	送配湯管の改修 送配湯ポンプの改修 貯湯槽の改修								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
コスト	事業費	7,920,000	9,572,200	23,120,000		
	人件費					
	常勤職員	430,646	424,557	453,280		
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	430,646	424,557	453,280		
	総事業費	8,350,646	9,996,757	23,573,280		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	8,350,646	9,996,757	23,573,280		
	財源合計	8,350,646	9,996,757	23,573,280		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 温泉を、送配湯管を經由し配湯先まで配湯するためには、送配湯管の維持管理及び更新は必要不可欠である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 老朽化した温泉施設を定期的・計画的に更新することにより、漏湯等の事故を未然に防ぎ、温泉の安定供給が図られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 漏湯等の事故を未然に防ぎ、温泉の安定供給が図られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 町温泉施設から配湯を受けることは、受益機会均等である。

令和3年度までの自己評価または改善点	老朽化した送配湯施設から順次、定期的・計画的に更新した。
--------------------	------------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	温泉事業の全体又は施設の維持管理等の部分的な業務について第三者委託は可能ではあるが、費用等を含め検討する必要があり導入には至っていない。
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	老朽化した送配湯施設から順次、定期的・計画的に更新する。	
令和5年度以降の方向性	老朽化した送配湯施設の維持管理を定期的・計画的に行い、安定供給に努める。	

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	老朽化した送配湯施設の維持管理を定期的・計画的に行い、安定供給に努めること。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年 月 日作成

事業番号				担当課等	温泉課					
事務事業名	固定資産購入事業									
予算科目コード	会計		款	01	項	01	目	03	事業開始年度	平成 11 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P37 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	2 温泉	(1) 温泉資源の適正 管理	① 町営温泉集中管理の 推進・効率的な企業 経営				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	源泉用地等及び機械等の固定資産の購入								
対象	町温泉事業								
内容	源泉用地等施設購入 機械及び装置ほか備品購入 温泉料金計算システム機能追加購入								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
コスト	事業費	17,614,140	10,359,400	3,968,000	
	人件費				
	常勤職員	143,548	283,038	283,300	
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	143,548	283,038	283,300	
	総事業費	17,757,688	10,642,438	4,251,300	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	17,757,688	10,642,438	4,251,300	
	財源合計	17,757,688	10,642,438	4,251,300	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 温泉を配湯先まで配湯するためには、施設の固定資産の維持管理及び更新は必要不可欠である。また、源泉用地等施設の購入により、経営効率を高め、温泉資源保護を進めることができる。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 源泉用地等施設の取得や温泉施設の固定資産を定期的・計画的に更新することにより、漏湯等の事故を未然に防ぎ、温泉の安定供給が図られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 漏湯等の事故を未然に防ぎ、温泉の安定供給が図られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 町温泉施設から配湯を受けることは、受益機会均等である。

令和3年度までの自己評価または改善点	老朽化した固定資産から順次、定期的・計画的に更新した。また、令和2年度に1件の源泉用地購入を行った。令和3年度にて温泉料金計算システム機能追加購入し、コンビニ・スマホ決済が可能となり、料金徴収の効率化を図った。
--------------------	---

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	温泉事業の全体又は施設の維持管理等の部分的な業務について、第三者委託は可能ではあるが、費用等を含め検討する必要があり導入には至っていない。
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	老朽化した固定資産から順次、定期的・計画的に更新する。	
令和5年度以降の方向性	老朽化した固定資産の維持管理を定期的・計画的に行い、安定供給に努める。温泉資源保護と経営効率を高めることが可能な源泉用地等施設の購入を検討していく。	

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	老朽化した固定資産の定期的・計画的な更新及び購入を検討し、安定供給に努めること。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--